

決算特別委員会産業建設分科会 記録

開 会 年 月 日	平成 28 年 9 月 27 日
開 会 時 刻	午前 9 時 57 分
散 会 時 刻	午後 0 時 08 分
出 席 委 員 名	◎世古 明 ○野口 佳子 山根 隆司 小山 敏
	杉村 定男 浜口 和久 山本 正一 佐之井久紀
	宿 典泰
	中山 裕司 議長
欠 席 委 員 名	
署 名 者	山根 隆司 小山 敏
担 当 書 記	森田 晃司
審 議 議 案	議案第 74 号 平成 27 年度決算認定について 産業建設分科会関係分
	議案第 76 号 平成 27 年度伊勢市水道事業の利益の処分及び平成 27 年度伊勢市水道事業会計決算認定について
	議案第 77 号 平成 27 年度伊勢市下水道事業の利益の処分及び平成 27 年度伊勢市下水道事業会計決算認定について
説 明 員	市長 副市長 ほか関係参与

審査の経過ならびに概要

午前9時57分、世古会長が開議を宣告し、会議成立宣言の後、会議録署名者に山根委員、小山委員を指名。「議案第74号平成27年度決算認定について」産業建設分科会関係分を議題とし、議案第74号の歳出款9土木費から審査を再開し、付託案件すべての審査を終わり、暫時休憩の後、会長報告文について正副会長に一任することで決定し、閉会した。

なお、詳細は次のとおりです。

開議 午前9時57分

◎世古 明会長

ただいまから産業建設分科会の継続会議を開きます。

本日の出席者は全員でありますので、会議は成立いたしております。

会議録署名者は、当初決定のとおり山根委員、小山委員の御両名にお願いいたします。

それでは、前回に引き続き、「議案第74号平成27年度決算認定について」当分科会関係分の審査を行います。

審査に入ります前に、当局から発言がありますので許可します。

都市整備部長。

●中村都市整備部長

おはようございます。

昨日の審議の中、款総務費、項総務管理費、目交通対策費において、宿委員からの自主運行バス運行事業で収入の金額についての御質問に対し、交通政策課長が31万8,158円という回答を申し上げましたが、27年度の収入金額は43万7,151円の間違いでございました。改めて訂正し、おわび申し上げます。大変申しわけございませんでした。

◎世古 明会長

それでは、最初に款9土木費の審査をお願いします。土木費については、項2道路橋梁費及び項5都市計画費については目単位で、その他の項は項単位での審査をお願いします。なお、土木費は全てが本分科会の所管となります。

それでは、160ページをお開きください。

項1土木管理費については、項一括で御審査願います。

【款9土木費】《項1土木管理費》

◎世古 明会長

御発言はございませんか。

山根委員。

○山根隆司委員

おはようございます。

この項で地籍調査事業についてお尋ねいたします。

成果表は583ページで、これは国から国土交通省に基づく当該地籍の関連事業ということで、説明はよくわかります。ずっと継続してやっておることもわかっておるわけですが、この事業、全国的に見てもまだまだおくれておるのかなというようなことを感じております。日本全国を見て、まだ5割程度というところでございます。三重県においてもまだ1割弱ぐらいしかできていないと、県全体ですけれども、でございます。現在、伊勢市においてどこまで、どの程度まで進んでおるのか、現状の状況のできぐあいのところだけちょっと説明を願えますか。

◎世古 明会長
用地課長。

●宮本用地課長

お答えさせていただきます。

当市の現在の27年度末の進捗率でございますが、国土交通省のホームページで公表されておる数字が9%です。実際には、細かい数値で言いますと8.7%でございます。

以上です。

◎世古 明会長
山根委員。

○山根隆司委員

まだ全体の1割弱というところの御答弁であったと思います。やはり地籍調査というのは、今後経済対策とかいろんな問題が出てくる中で、伊勢市内の全地域をするには時間がかかると思います。その中で、当局としてどの程度認識を持った中で進めているのか、考え方をちょっとお聞かせください。

◎世古 明会長
用地課長。

●宮本用地課長

今仰せのとおり、この事業につきましては、国土調査法が昭和26年に制定されまして65年が経過しておりますが、今、国の進捗率は51%と、長い年月がかかる事業と認識しております。そしてまた、現在の地籍調査事業につきましては、平成22年度から31年度を対象としました国の6次10カ年計画に基づきまして実施しております。国の目標数値は49%から57%、市の目標数値は6.3%から7.3%に定めておりました。6年が経過しまして、先ほど申しましたように51%というのは国全体でおくれぎみでございますが、当市におきましては平成26年度末に7.3%を達成しておりますので、さらに目標値を9.0%として現在進め

ておるところでございます。

また同時に、第2次伊勢市総合計画におきましても、この4年間でまちづくりの視点とした伊勢市の市街地の人口集中地域の地籍調査の進捗率を目標値19.0%、それと同時に、防災の視点におきまして津波浸水エリアの地籍調査測量を目標値23.3%として進めておるところでございますが、いずれにしろ、当市におきましてもこの事業、長い年月がかかるというふうに認識しております。

以上です。

◎世古 明会長
山根委員。

○山根隆司委員

ありがとうございます。かなり長期的な時間にまたいでいくのかなと思います。

合併前に小俣町さんなんかは大概のところは地籍調査が進んだということは聞いておりますが、その当時の地籍調査と、また今現在の特に手法等、いろんな形でやり方も違う中で、全体を考えた中でいち早く進めていただくことだけお願いを申します。ありがとうございます。

◎世古 明会長
他に御発言はございませんか。
宿委員。

○宿 典泰委員

おはようございます。

土木管理費のところ、土木費の全体に関係してくるのかなと思いながら御質問申し上げたいんですけども、今回、本会議場でも病院問題が取り上げられ、労務費、また材料費というのが相当高騰してきたということでありました。非常にそういうことであると、土木関係のことについては土木の維持管理から舗装から、また新設道路から、もうあらゆるものがひっかかってくる。また長寿命化の関係もあるというふうなことからすると、全体の問題としてこの問題は捉えて、実際にどうであるのかということをお聞きしたいなど、こんなことを思うわけでありまして。そのいかんによっては市民サービスの停滞ということにもつながる話でありますので、労務費がそれだけ上がっておるのか、また材料費がそれだけ上がっておるのかというところの実態をちょっとお聞きしたいと思うんです。

◎世古 明会長
基盤整備課長。

●荒木基盤整備課長

それでは、労務費及び材料費の高騰についてお答えさせていただきます。

まず、労務費、それから材料費の推移を見てまいりますと、平成25年度までは安定した価格でございました。それから26、27、28と、この3カ年で急騰しておるといような状況でございます。具体的には、労務費でいいますと、特に設計で多く計上します普通作業員を見てみますと、25年から28年の3カ年で1.42倍になっております。それから材料費で申し上げますと、これも土木工事でよく使われます生コンクリート、この材料で見ますと3カ年で1.3倍というような高騰をしておるといような状況でございます。

以上です。

◎世古 明会長
宿委員。

○宿 典泰委員

労務費が1.42倍ということになると、当然、土木関係の作業員の方、全般の平均値だとは思いますが、逆に警備なんかも含めて1.42倍ということになっておるのでしょうか。

◎世古 明会長
基盤整備課長。

●荒木基盤整備課長

すみません、今1.42倍と申し上げさせていただいたのは普通作業員という方に対する倍率でございます。今おっしゃられました交通誘導員につきまして見てみますと、交通誘導員もA作業員、B作業員と2種類あるんですけれども、A作業員が1.44倍、B作業員が1.43倍というような状況になっております。

以上です。

◎世古 明会長
宿委員。

○宿 典泰委員

そういうことであると、正直、今まで例えば土木関係の費用がこれでいきますと全体で53億8,000万という予算を組んで、補正もありということで最終的には55億9,000万という枠を組んでおるわけでありましてけれども、1.4倍もしてくるといことになると通常の市民サービスには相当影響が出てくるのかなと、こんなことを思います。ただ、一方で随分予算に対して実行されてない費用もあるとすると、これは入札関係のこともありますから、当然割り引いて不用額が出てくるということもあろうと思いますけれども、一番懸念するのは、市民からの要望、要請、また防災の視点等々も含めて全体に抑えられるような話になってこようかと思うんです。このあたりは実感として当局側はどのような形で捉えてお

られるのか、ちょっとお聞きをしたいと思います。

◎世古 明会長
基盤整備課長。

●荒木基盤整備課長

ただいま委員御指摘のとおり、材料費、労務費の高騰ということで設計額そのものが上がっております。結局、そのことによって事業の進捗というのがなかなか以前のような同じ金額では当然進まないということでございますので、優先順位を改めて精査して見るなり、あるいは事業そのものを検証するなりして対応していくということをしておりますけれども、それにも限度がございますので、そこは優先順位を見ながら、どうしても緊急でやっていかなあかんことについては当然やっていくと。少し崩せるようなものについてはそういったことも考えて事業を進めていかなければならないなど、そういうふうを考えております。

◎世古 明会長
宿委員。

○宿 典泰委員

先ほど、労務費の関係は今1.42倍ということで普通作業員のことはわかりましたけれども、材料費に関しては一応生コンということで固定されてやられています。全体の材料となると建築部材から建設部材、土木関係、生コンでいう2次製品ということになろうと思うんですけども、そういったものが全部このような形で上がっておるのかということとは調査されておるのでしょうか。

◎世古 明会長
基盤整備課長。

●荒木基盤整備課長

材料につきましては、その工事によってたくさん種類がございますので、その調査をしておるわけではございません。個別、本当にたくさんございますので。今申し上げましたのは一番頻度の高い、一般の土木事業で使われることの多い生コンクリートについて申し上げさせていただきましたが、それ以外の材料については、またいろんなそれぞれで価格の上昇があるかと思えます。

◎世古 明会長
宿委員。

○宿 典泰委員

そういう細かなものまで調査せえということではないんですけれども、それは検査室できちっと調査をされて、きちっと製品が確定したものが使われておるかのことも含めて調査されておると思うんです。

もう一つ心配をするのは、労務費、材料費を全体で予算の中でとるときに設計が当然上がってきます。最近の入札、全部全部見ておりません。たまにパソコンを開いたときに入札の関係を見ると、もう九十数%ということで、うちの最低制限価格どうのこうのという問題でもなくて、そういう状況なんです。

それで、以前私が議会に参加させていただいたときは、入札の不用額が出るので、それをまた維持管理的なところの費用として全体の総額の中で使ってもらっておるというのがあったんですけれども、それがもうほとんどないのではないかなというようなことも思うんです。今言われたように設計のほうで大変高騰しておるということで、設計を組んだそのままが入札価格みたいなことになって表示もされておりますけれども、そのあたりのことは今後の対応としてどうなっていくんだろうと。

それに加えて、市民の方からのサービスとして、このあたりをこうしてほしい、災害に向けての防災に向けての状況の中でこのようなことをやってもらえないかということが出てくると思うんですよ。そういう意味の市民サービスがすごく停滞してくるのかなというようなことも思うんです。予算がないために、もう来期ですよ、2年越しですよ、3年越しですよ、3年間に割りますよというようなことで、きちっとそのあたりができるのかなと。

五十数億というのが大体変わらない金額ですので、非常に財政の予算の持ち方も考える必要もあるのかなということも含めて今後のあり方というのはどのように考えていくのか、当局のほうの将来に向けての考え方をもう一回お聞かせ願いたいと思います。

◎世古 明会長
都市整備部長。

●中村都市整備部長

ただいま建設工事に係る労務費なり材料費というものの高騰について御質問を受けておるわけですが、昨年度の私どもの予算、確かに高騰を受け、当初予定した工事、特に生活に密接する側溝改良ですか、そういう事業においては12月に補正もいただき、対応してきたところです。たしか1億円ほどの補正を上げて27年度については乗り切ったと、このようにありますので、今後においても、今回28年度についてはそういうようなところも見込める分についてはしておりますが、もしさらなる高騰があれば、財政が厳しいところではあります、補正なりして市民の対応を受けていくと、こういう考えでありますので、よろしくお願ひしたいと思います。

◎世古 明会長
宿委員。

○宿 典泰委員

ついでに財政課の考え方をお聞きしたいんですけども、財政課は土木関連費用がそのように1.4倍とか1.3倍になっておるということについては認識されて予算を組まれておるといことになるんでしょうか。この決算を見たときに、なかなか僕も判断が難しいなどということになるし、今の災害なんか見てみると、もう非常に待つてはおれんような状況がやっぱり各地で起こっておると思います。維持管理の側溝なんかは町なか、また違う地域を見てみると割ときれいになってきた。10年、15年前の側溝が随分傷んできたというようなどころもあるにしても、随分よくなってきたと思うんですけども、自然と向き合って大雨が降る、山からというような話が出てくると、やはりそのあたりのことについても財政課としてもきちっとつかんだ中で予算を組んでもらっておると思うんです。今回の決算で検証する中で今後の予算の組み方についても変わってくると思うので、財政課はそういったことが認識されて、また今後のことにつなげていただいておりますのか、ちょっとお聞きをしたいと思います。

◎世古 明会長

情報戦略局参事。

●鳥堂情報戦略局参事

ただいまの宿委員の御質問にお答えをさせていただきます。

生活基盤整備関連につきましては、当初の予算編成のときから厚くといいますか、安全配慮義務違反という御指摘をいただくようなことのないようにということで、十分にとは言えないかもわかりませんが、その旨につきましては編成時点から注意をさせていただいております。また、執行していく中で、先ほど都市整備部長のほうからもお答えをさせていただきましたが、年度の途中で9月、12月の段階で必要額が生じてきました場合には、補正予算という形で対応させていただいております。

ただ、総額といたしましては、どうしても上限がございますので、その範囲内の中での調整ということになりますけれども、今の高騰した状況ではありますものの、必要なものは必要なところへ予算が配分できるようにということで、全ての事業間のバランスを見ながら調整させていただいております。

以上でございます。

◎世古 明会長

宿委員。

○宿 典泰委員

そうすると、答弁にはなかったんですけども、建設物価の高騰ということについては認識をされておるといことなんですか。それをお答えください。

◎世古 明会長

情報戦略局参事。

●鳥堂情報戦略局参事

失礼いたしました。

材料費、また労務単価等々の高騰につきましては十分認識をしております。先ほど来から説明させていただいておりますように、26年、27年の予算の編成の段階からそういったことについては影響が出てきております。かなり事業費の部分におきましては、総額の関係がございますのでそちらがありますけれども、総量としては事業量は落ちておるかもわかりませんが、事業費としましてはほぼ50億程度の、土木費に関してですけれども、中ではおさまるように調整しておる、そういった状況でございます。

以上でございます。

◎世古 明会長

他に御発言はございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

◎世古 明会長

御発言もないようでありますので、項1 土木管理費の審査を終わります。
次に、項2 道路橋梁費、目1 道路橋梁総務費について御審査願います。

《項2 道路橋梁費》（目1 道路橋梁総務費） 発言なし

◎世古 明会長

御発言もないようですので、目1 道路橋梁総務費の審査を終わります。
次に、162ページをお開きください。
目2 道路維持費について御審査願います。

（目2 道路維持費） 発言なし

◎世古 明会長

御発言もないようでありますので、目2 道路維持費の審査を終わります。
次に、目3 道路新設改良費について御審査願います。

（目3 道路新設改良費） 発言なし

◎世古 明会長

御発言もないようでありますので、目3 道路新設改良費の審査を終わります。
次に、目4 橋梁維持費について御審査願います。

（目4 橋梁維持費）

◎世古 明会長

御発言はございませんか。
宿委員。

○宿 典泰委員

橋梁の長寿命化のことでお伺いをしたいと思います。

今回、予算2億3,914万7,000円をとられて、補正のほうで減額されて1億6,000万強の執行があったということで成果は載っておるわけでありましてけれども、橋梁の長寿命化の優先順位というのか、そのあたりはどのように構えられておるのか、お聞きをしたいと思います。産業建設委員会のほうでは、橋の延長であったり幅員であったりということがある程度の基準になって、大きいものから順次やっていくというようなこともお示しをさせていただいたと思うんですけれども、そのあたりのことを少しお伺いしたいと思うんです。

◎世古 明会長

基盤整備課長。

●荒木基盤整備課長

橋梁の長寿命化についてでございますけれども、これについては長寿命化修繕計画をつくっております。この計画は国の方針にもありまして、まずは道路サービスの影響が大きい橋長15メートル以上の橋梁について、その整備計画、今後、2013年以降の50年の中で整備を試算したり、あるいは計画におよその順位をつけたりというような計画をつくっておりますけれども、15メートル以上の橋について、その計画の中で順位をつけて今現在修繕を行っておると。15メートル未満の橋については、今後また点検等を行ってから修繕等に対応していくというような予定でおります。

以上です。

◎世古 明会長

宿委員。

○宿 典泰委員

庁内的には優先順位を国からの指導でやっておるということなんですけれども、それは具体的にどこの橋梁やということの順位ということになるんですか。

◎世古 明会長

基盤整備課長。

●荒木基盤整備課長

おおよその順位はついておりますけれども、まだ長寿命化計画の中では目視点検という

ところがございますので、そこからもっと近接の見て打設したりとかというような点検、それから修繕の設計をいたします。そういったところで緊急度も多少変わりますので、それは個々の点検で修繕設計を見て決めていくというような状況でございます。

◎世古 明会長
宿委員。

○宿 典泰委員

そうしますと、大きな道路は交通網の関係もあって非常に重要やと思います。ただ、住民の視点から見ると、近隣の目の前の橋というのが多分15メートル以下の橋が非常に多いかなと思うんですけれども、それについての長寿命化という言い方がいいのかどうかあれですけれども、維持管理的なこととか、そういったことがいつの時点でどうなるんだろうということを非常に心配もするわけなんです。このあたりの計画については、やっぱり優先順位からすると随分落ちてくるような感じなんではないでしょうか。

◎世古 明会長
基盤整備課長。

●荒木基盤整備課長

15メートル未満の橋ですけれども、これについては伊勢市が管理しておるのが373橋ございます。平成26年から30年までの5カ年で全橋梁、これは15メートル以上も含めてですけれども、448橋の点検を行います。その点検の結果、いろいろ緊急度もございますので、15メートル以上が終わってからやないとそれ未満の橋をやらないということではなくて、その点検の状況も見ながら随時修繕を行ってまいりたいと考えております。

◎世古 明会長
宿委員。

○宿 典泰委員

わかりました。若干、市民の目からすると目の前の橋の点検もやっていただくということで、その中に優先順位も入っているということで、これは安心をしました。

そうなりますと、平成30年までに点検をやり、工事の費用、先ほど言った高騰等々のこともありますけれども、おおよそ総額でどれぐらいの予算を組んでいくということになるのでしょうか。

◎世古 明会長
基盤整備課長。

●荒木基盤整備課長

修繕の全体の工事費というのは、まだ実は出ておりません。長寿命化計画の中では、橋長15メートル以上についておおよその費用を出しております。それは75橋ございますけれども、その75橋の50年間の整備費ということで、長寿命化計画を策定する前の今までの従来の壊れてから直す事後保全型の整備をしますと104億円かかるというような試算の中で、壊れる前の点検も含めて事前に、予防保全型と言っておりますけれども、その修繕をすることで事業費が32億円に縮減できると、72億円の縮減額になるというような長寿命化の修繕計画になっております。そういった形で、金額で出ているのは15メートル以上の事業と。そのほかの15メートル未満の橋については今後、点検の中で試算していくということになります。

以上です。

◎世古 明会長
宿委員。

○宿 典泰委員

わかりました。もう大変な費用がかかるということで、私は今、橋梁ということで橋の問題だけやっておりますけれども、多分さまざまところでこういうことが出てくるんだろうということを思います。そうすると、やはり15メートル未満のところの総額というものも概算でどの程度費用が要るものなのか、それによって一般会計からの支出についてもどれぐらいかかるものなのか、市民負担の関係も含めて早く公表できるように積算をよろしくお願ひしたいと思います。ありがとうございました。

◎世古 明会長
他に御発言ございませんか。

[「なし」と呼ぶ者あり]

◎世古 明会長
御発言もないようですので、目4橋梁維持費の審査を終わります。
次に、目5交通安全施設費について御審査願います。

(目5交通安全施設費)

◎世古 明会長
御発言はございませんか。
山根委員。

○山根隆司委員

この中で、交通安全施設整備ということで1,700万事業費がされたわけでございます。年間を通して、成果表によると43件の事業の指定でありました。各町会、自治会、PTAさんからいろんなところの要望書、陳情が上がっておる中で、全体の中で43件あった中で

100%要望に応えられておるのか、どの程度まで43件のやつでされたんか、その点をお聞かせください。

◎世古 明会長
維持課副参事。

●安藤維持課副参事

現在、地元からの要望としまして特に多いのはカーブミラーでございます。カーブミラーに関しましては現在、伊勢市内に5,000件ございます。ほとんど修繕でございますが、現時点でほぼ100%対応させていただいています。ただ、随時事故等での破損がございますので、その都度の対応をさせていただいているところでございます。

以上でございます。

◎世古 明会長
山根委員。

○山根隆司委員

カーブミラーの5,000件は全件対応ということですがけれども、通学路、交通安全施設ということでP T A、側溝の整備からガードレール、いろんなことでこういう要望があると思います。その中で、ほとんどされたのが100%ぐらいおるのか、要望の中で。ということだけもう一回お聞かせください。

◎世古 明会長
維持課副参事。

●安藤維持課副参事

特にラインに関係しますものとしては、まだ一部未整備のところもございます。ラインに関しましては通学路、特に学校周辺、公共施設周辺について重点的に設置をしております。

以上でございます。

◎世古 明会長
山根委員。

○山根隆司委員

学校と通学路という安全のところでございますので、いち早く要望に応えられるようによろしく願いいたします。結構でございます。

◎世古 明会長

他に御発言はございませんか。

[「なし」と呼ぶ者あり]

◎世古 明会長

御発言もないようですので、目5交通安全施設費の審査を終わります。
次に、目6道路整備事業費について御審査願います。

(目6道路整備事業費)

◎世古 明会長

御発言はありませんか。
山根委員。

○山根隆司委員

ここも同じです。通学路の整備事業についてお尋ねいたします。

安全と安心のところで、道路というところでこの事業をされておるのはわかりますが、学校の統合により、通学路の変更もこれから出てくると思います。統廃合された中で、開校に向けた中でその路線を点検整備、補修ということが必要となります。そのあたり、どの程度まで考えているのかお聞かせください。

◎世古 明会長

基盤整備課長。

●荒木基盤整備課長

統合に伴う通学路の整備についてでございます。

まず、統合によって通学路が新たに設定されることになろうかと思うんですけども、通学路の設定については統合準備会のほうで協議されます。通学路が決定したところで、その通学路について何か問題はないかというような点検をいたします。そこに対しての要望をいただくんですけども、まず、それをもう一度再確認といいますか、点検をいたします。それは、教育委員会とかあるいは道路管理者、警察などから通学路の交通安全にかかわる関係者で組織されておるんですけども、伊勢市通学路交通安全推進会議というのがございます。この会議の中で点検、それから対策について協議してまいります。その協議の結果をもとに各関係機関が対策を実施していくと、そのような流れでやってまいりたいと思います。

いずれにしましても、統合までに通学路をきちんと整備するというようなことは重要なことだと思いますので、おくれることのないように対応してまいりたいと、そのように考えております。

◎世古 明会長

山根委員。

○山根隆司委員

学校統合に向けた中で、準備を前もった中で計画を進めてください。ありがとうございます。

◎世古 明会長

他に御発言はございませんか。

[「なし」と呼ぶ者あり]

◎世古 明会長

御発言もないようですので、目6道路整備事業費の審査を終わります。

次に、164ページ、項3河川費について審査願います。

河川費につきましては、項一括で御審査をお願いいたします。

《項3河川費》

◎世古 明会長

御発言はございませんか。

小山委員。

○小山 敏委員

河川維持費のところと、あと排水路整備費のところをあわせてお尋ねさせていただきたいと思うんですが、ちょうど今から1週間前の20日、途中で本会議が散会になった大雨の降った日なんですが、お昼過ぎにかなり緊迫した声で私のところへ電話がありまして、付近の川がオーバーフローしそうやと、すぐポンプを回してくれないかというふうな電話が入ったんです。ちょうど干潮時だったものですから、恐らく勢田川の水位のほうを低ければポンプを回すよりは自然流下のほうが早いと思いますので回してなかったと思うんですが、ポンプはどのようなタイミングで回すか、ちょっと教えていただけますか。

◎世古 明会長

維持課副参事。

●安藤維持課副参事

現在、桧尻川の下流にございますポンプ場は国交省所管の桧尻川ポンプ場でございます。まず水位に関しましては、起動水位というのがございまして、これは水面が1.1メートルという高さになりますと起動するという形であります。当日の水位ですと0.7ということでしたもので、水位には至りませんでした。ただ、委員がおっしゃるように、その時点では干潮ということでかなり水位が引いておったということになりまして、起動水位まで達していなかったというところでございます。

◎世古 明会長
小山委員。

○小山 敏委員

ありがとうございました。

では、起動させるそのタイミングを決断するというか、決めるのはどこでそういうことを判断しているのでしょうか。

◎世古 明会長
維持課副参事。

●安藤維持課副参事

基本的には内水、外水の水位がございまして、あくまで勢田川の水位と、あるいは桧尻川の内水の水位によって決めてあります。それで、高さに関しては河川管理者である国交省、それと桧尻川の管理者である県でございまして。

以上でございまして。

◎世古 明会長
小山委員。

○小山 敏委員

ありがとうございます。

ポンプを回しましても、そのポンプ場の近くのところはかなり効果があらわれるかと思うんですが、そこから遠く離れていますとなかなか影響が出ないといいますか、すぐには水が引かなくて小雨になるのを待つしかないような感じなんです。あの日も八間道路で床下浸水が発生したというようなことを聞いておるんですけども、雨水排水、このほうの整備が進まないとなかなか難しいかと思うので、その辺の排水路の整備の進捗状況につきまして教えていただけますか。

◎世古 明会長
維持課副参事。

●安藤維持課副参事

最近の気象状況によりまして、雨の降り方によっても事情が変わってくると思います。台風等によるある程度予測できる範囲内の雨量と今回みたいにかなり極地的な集中豪雨、特にそれは、かなり上流に関しましてはその部分で冠水するというところの状況だと思います。特に水の処理に関しましては、どうしてもポンプ場というのは水路の下流にございまして。上流に降った場合はある程度の水路のキャパの問題になってくると思うんですが、維持課としましては、なるべく水路の断面を多少とも機能できるように草の件、あるいは

しゅんせつの件、その辺で対応していきたいと考えております。

以上でございます。

◎世古 明会長

小山委員。

○小山 敏委員

ありがとうございます。

市民の皆さんが一日も早く安心して暮らせるような伊勢市にしていきたいと思いません。よろしく申し上げます。

◎世古 明会長

他に御発言はございませんか。

山根委員。

○山根隆司委員

この中で、小山委員が言っておられましたけれども、ポンプの件で、ポンプ場がある中で老朽化というのがかなり進んでおるかなというように考えます。ポンプの更新経費がでておるわけなのでございますが、老朽化が進む中でどの程度修繕、更新について考えておるのか、お聞かせください。

◎世古 明会長

維持課副参事。

●安藤維持課副参事

現在伊勢市が所管しておりますポンプ場としまして、小規模なポンプ場、都市ポンプと言われておるところが39機場ございます。それ以外に、農林所管の淡水分離のポンプ場が31基、下水道の雨水ポンプが11基ございます。先ほどの御質問における都市ポンプの維持修繕に関しましては、現在、39機場のうち7機場、これが15年以上の施設のポンプ場であります。これにつきまして長寿命計画を立てております。そのほか、24基の水中ポンプがでございます。水中ポンプに関しては、常時水に入っているということでかなり老朽化が進んでおりますので、31機場に関しまして長寿命化計画を立て、随時修繕を行っていく予定で考えております。

以上でございます。

◎世古 明会長

山根委員。

○山根隆司委員

ありがとうございます。

長寿命化計画を策定しておるといふことでございます。そのような形で、財源のこともあります。今後の更新費用の見込みはどの程度、15残っておるといふ中で15年以上たっているポンプについて、更新費用の見込みなどはどこまで概算で出されているのか、計画がどんなのか、その程度を説明願いたいと思います。

◎世古 明会長
維持課副参事。

●安藤維持課副参事

現在、ライフサイクルコストといひまして予防保全を行うことによつてのコスト縮減を含めまして、一応60年間のシミュレーションをしております。計画としましては、平成40年度までの予定での事業計画でございます。一応、ポンプ場の特性、重要性あるいは事業費の平準化も含めまして、2億円程度という毎年の事業費を考えております。トータル的には約20億程度の予算になってくると考えております。

以上でございます。

◎世古 明会長
山根委員。

○山根隆司委員

ありがとうございます。年2億円程度を見込んでおるといふことでございます。多額な費用が要る中で、財源も含めながら計画どおりに進んでいただくことだけ希望して、終わっておきます。

◎世古 明会長
他に御発言はございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

◎世古 明会長
御発言もないようでありますので、項3河川費の審査を終わります。

次に、166ページをお開きください。項4港湾海岸費について、この項も項一括で御審査願います。

《項4 港湾海岸費》

◎世古 明会長
御発言はありますか。
宿委員。

○宿 典泰委員

1点お聞きをしたいと思います。

宇治山田港湾の整備促進事業として協議会もNPOで立ち上げられておられると思うんですけども、それで前回、産業建設委員会の中でもプレジャーボートの問題であったりとか、NPOが実施しておる状況のことを報告もあって、しました。

1点お聞きしたいのは、今後の宇治山田港湾の整備促進として、あの港湾を利用したどのような活性化論というのか、そのようなことが協議をされておって、将来どういう状況に持っていくのかということがなかなか見えない部分があります。当然私も県の管理下、国の管理下の話もわかりながら今お聞きをしておりますので、若干そのあたりのこともわかるように御説明をいただきたいと思います。

◎世古 明会長

都市整備部次長。

●堀都市整備部次長

宇治山田港湾整備の状況ということでございます。

宇治山田港湾整備につきましては、平成22年11月に宇治山田港湾みなとまちづくりに向けての提言というのを受けております。その中で重点プロジェクトというのを3点掲げておりまして、その一つがプレジャーボート対策の推進、あと港の活用、地域が主役となるまちづくりの展開ということで、この3つを重点的にやっていこうということで取り組んでおります。

1点目としましては、先般の産業建設委員会協議会でも御報告させていただきましたが、プレジャーボート対策については平成31年度末に不法係留船をゼロにしようということで今、取り組んでおるところでございます。

2つ目の港の活用につきましては、現在、三重県さんのほうでもいろいろ御尽力いただきまして、神社の海の駅の前のところ、NPO跡を協議会が協力して活用を進めていくような取り組みも今、進めていただいておりますということで、また、この10月12日には御幣鯛の行事もございしますが、そのような地域の港の活用を行っていきたいということで今進めております。

また、3つ目の地域が主体となるみなとまちづくりの展開ということにつきましては、平成26年度から子供の夏休みツアーというような形もさせていただいて、沿岸の地域の自治会でありますとかNPOでありますとか、そういうところと連携した形で地域が主体となるイベントなんかも進めていただいておりますというような状況となっております。

ただ、今、委員も仰せのとおり、施設の部分については整備というのがなかなか難しいというような状況も現在あるところでございます。

◎世古 明会長

宿委員。

○宿 典泰委員

産業建設委員会で報告をいただいて、プレジャーボートの不法係留の解消の問題とか勢田川の問題とかマリンもつくっていくんやということ、そういったことは報告があって大体わかっておるわけで、ただ、地域の関係でいくと、NPOが主体で頑張ってもらっておると思うんですけども、どうも伊勢市主体のものというのがちょっと見えにくいという状況だと思うんです。やはり県・国とのハード整備のことと一緒にしないとなかなか動き出すのが難しいのかなというふうなことも理解はするんですけども、何か宇治山田港湾ということで位置づけられておるところがある、ここですよ。特にこのあたりというのはしゅんせつが必要な場所で、喫水が非常に少ないということですから、今回の御幣鯛の関係も満潮に合わせて入ってこないとなかなか来られないような状況のことだと思うんですよ。いつも市長もお出迎えに行かれて御歓迎を申し上げてということで、あれは地域主催の事業としてNPOが立ち上げた事業ですけども、実際には港湾事業としてするならば、伊勢市のほうからも働きかけを何らかでして、違う活性化論というのでも出てきてもいいのではないかなということを感じるので、何かそのあたりの方向性について、協議会でももう少し前向きな話があってもよさそうではないかなと、こう感じるものですから、ちょっと将来のことについての考え方だけお聞かせを願いたいと思います。

◎世古 明会長

都市整備部次長。

●堀都市整備部次長

御幣鯛のこともあります中で、昨年度、今年度の中で国のほうでも今までついておった護岸のあたりについてもしゅんせつしていただいておりますということで、そのあたりの整備は、一気にではございませんが、私どももいろいろと事あるごとに御要望申し上げて、進めていただいておりますというのが状況でございます。

ただ、先ほど申しました平成22年11月の提言書の中にはマリーナの建設でありますとかそういう大きな目標というか、旗もあつたわけなんですけど、やっぱりなかなか大きなハード整備というのは非常に難しいというような状況で、航路のしゅんせつでありますとか、そういう部分については管理者である県のほうでいろいろと取り組んでいただいております。

それと、地域主体のまちづくりにつきましても、市のほうも積極的にかかわって事業もさせていただいておりますというようところでございます。

以上です。

◎世古 明会長

他に御発言はございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

◎世古 明会長

御発言もないようでありますので、項4港湾海岸費の審査を終わります。

次に、項5都市計画費、目1都市計画総務費について御審査願います。

《項5都市計画費》（目1都市計画総務費） 発言なし

◎世古 明会長

御発言もないようですので、目1都市計画総務費の審査を終わります。
次に、目2まちづくり推進費について御審査願います。

（目2まちづくり推進費）

◎世古 明会長

御発言はありませんか。
山本委員。

○山本正一委員

この項で少しだけお尋ねをしたいなと思います。

私、空家等対策事業、この件でお尋ねをしたいんですが、私も本会議場で空き家対策を質問したわけでございます。平成27年5月に新しく法律が施行されたと、こんな形なんです。先般の一般質問において特定空家、いわゆる倒壊のおそれがある空き家等々が調べたら八十数軒あるというような結果も出ておるということも聞いたんです。倒壊のおそれのあるいわゆる特定空家、これ、いろいろ状況があると思うんですよ。その中で、近隣に非常に多大に迷惑がかけると。空き地の中に隣とはかなり離れておるのやというような特定空家と、これが崩れてくると隣接の住居に非常に迷惑がかけるといふ、その比率というのはそこまで詳しく調べておるのか、まず、そこら辺からお尋ねをしたいなと思います。

◎世古 明会長

都市整備部参事。

●久田都市整備部参事

空き家の調査のことでもございましたけれども、これにつきましては昨年度、調査を9,000軒させていただきました。それで、調査の方法としまして道路から目視でさせていただきます、見える範囲は調査をさせてもらいまして、それと道路から写真も撮らせてもらっていますので、その中でわかる範囲であれば写真を見させていただければわかるんですけども、付近の住民の方に聞き取りを行ったりとかそういったことで、周辺にどれぐらいの影響が出ておるかという、そういう調査については行ってないというふうな状況でございます。

◎世古 明会長

山本委員。

○山本正一委員

やっぱり仕事としてはわからんというようなことではいかんと思うんですよ。27年ということになって、まだ法律もできたばかりやと、こういうことなんです、今そしたら市のほうで、隣が崩れてきたらうちとこへ大迷惑がかかるんやというような件数は把握しておるんですか。

◎世古 明会長

都市整備部参事。

●久田都市整備部参事

申しわけございません。その件数というのは、把握はしっかりとほさせてもらっておらないというような状況でございます。

◎世古 明会長

山本委員。

○山本正一委員

それでは非常に困るわけなんで、これから審議会とか委員会ができてスケジュール的にずっと追うていくと思うんですが、やっぱり基本的に、それやったら今、空き家対策はどういうようにして動いておるのかな。あなたらの仕事として空き家対策に関してどのような仕事をしておるのか、ちょっとそこら辺も教えてほしい。

◎世古 明会長

都市整備部参事。

●久田都市整備部参事

空き家対策につきましては、空き家がまず個人の所有物であるということで、個人の財産であるということもございまして、まず個人の特定をさせていただきまして、その方に適正な管理をしていただくようお願いをさせてもらっておるというふうな状況でございます。

それで、議員おっしゃられている特定空家、これにつきましては今年度、計画も策定していきまして、どういうものを特定空家にするのかというようなところも決めてまいりまして、それで今、危険な空き家というふうになっておりますけれども、その中で特定空家が一体どれになるのかというような形で来年度は進めていきたいというふうに考えております。

それで、特定空家に指定をしませんと強制執行とかそういったこともできないというような状況でございますので、現在の状況につきましては、その所有者の方に御理解をいただいて、なるべく早く対応をお願いしておるというような状況でございます。

◎世古 明会長
山本委員。

○山本正一委員

そういう話であると、先般の質問の中で八十数軒危険度のあるの空き家があると。その八十何軒というのはどうのように調べたんですか。

◎世古 明会長
都市整備部参事。

●久田都市整備部参事

危険度の大中小というのは一応項目のほうでありまして、特定空家に該当する可能性があるものについて危険度大ということで分類をさせてもらっておるといような状況でございます。

◎世古 明会長
山本委員。

○山本正一委員

大中小ということなんですが、八十数軒ある中で大中小があると。調べたことがないと言いながら大中小があるということは、何をもってその数字を八十数軒あったということが言われるんですか。ちょっとそこら辺、まだ納得できませんもので。

◎世古 明会長
都市整備部参事。

●久田都市整備部参事

申しわけございません。危険度が大きいというものにつきましては、現地調査で行いました目視調査、この中で外壁が剥がれているとか、それとか敷地の中に草木が生い茂っているというような形とか、あと動物とか蜂とかそういった巣があるとか、そういった可能性があるものにつきまして危険度大ということでさせていただいておるといような状況でございます。

◎世古 明会長
山本委員。

○山本正一委員

余り言うておってもいかなので、やっぱり大中小、八十数軒というのは、今まで聞いて

おりますと、各自治会にお願いをして各自治会からこのようなところに空き家があるんやという答弁ならわかるんですが、調べてませんと言いながら82軒とかいう話をしておったんです。わからんでもないんですが、大中小の中でやっぱり危険度が多いというのは目視で当然いくわけなんで、これが崩れてくると非常に隣近所に迷惑がかかると、これが特一やと思うんですよ、Aの一番最たるものやと思うんです。ところが、崩れかけても隣近所に何にもないんやと、これはまあ問題ないんやというのは特二ぐらいになるんかな。

そやで、私が質問をしたいのは、空き家対策は相続のこともあるし、非常に法律の順番を追うていかんとなかなかできやんのですよ。まず法務局へ行って、これは誰のものやと。空き家やで誰もおらへんわけや。それで近所に聞いてそこへ話をしたり、法務局へ行って調べたり、固定資産税を誰が払うておんのやとか、そういうふうに法律的にずっと追うていかないかんで非常に手間暇がかかると思うんですよ。今、苦情というか、何とかしてほしいと、隣が崩れてくるかわからんで何とか市さん、してくださいという件数なんかは何件ぐらいあるんですか。

◎世古 明会長
副市長。

●藤本副市長

空き家の対策でございますけれども、現在の状況としましては、先ほどおっしゃっていただいたように、もう今崩れてくるかどうかわからない、非常に危険であるというような情報につきましては、地元の自治会のほうから情報を寄せていただいております。その部分につきましては、例えば台風が来る前にはブルーシートをかぶせたり、ただ、所有者の方の所有権がありますので大きく家屋を取り除くということはできませんけれども、トタンがめくれておったものを安全なような措置をするというような緊急的な措置につきましては随時行わせていただいております。

ただ、これから調査しました空き家について、優先順位をそこにつけて計画的にそれをやっていくというための計画を今年度中に立てる予定にしております。それに基づきまして、これから順次そういった特定空家の指定であるとかということを実施してまいりたいということで、現在も緊急的な処置につきましてはさせていただきますという状況でございますので、御理解いただきたいと思います。

◎世古 明会長
山本委員。

○山本正一委員

副市長みずからの答弁で、もう余り深くは言いませんが、しかし現実には、24年2月にここへお願いに来て、何とかしてほしいと。市の職員もそこへ見に行くと、当然私も見に行くと、隣の家と50センチぐらいしか離れておらんと、もう崩れかけておるところが現実にあるんですよ。それがいまだに何にもまだ向こうから返事がけえへんのやとか、返事がけ

えへんのですわ。ということは、相続の問題があるもので、いやあれ、まだ死んだおやじの名前になっておんねやと。それと相続が絡むものでもうちょっと待ってえなと言うたきり、ずっと日がたっておるんですよ。そういう空き家に対して市民の皆さんが非常に困っておるわけや。そういうものをやっぱり緊急に何とか対応していかんと、市はいつまでたってもしてくれへんのやと、こういう形になるんですよ。そやもんで割とくどく、一遍そんな家が何軒ぐらい苦情が来ておるのやという質問をしておるんですよ。やっぱり、そういうことをしたらんとなかなか市民としては不安なんです。

ところが、今遅い理由もあるんですよ。それは、当然やっぱりスタッフも足らんやろうし、日にちがかかる、追うていくのに。それがどんどんたまってきたとき、私は本会議でも言いましたけれども、減っていかんとふえてくる一方やわな、苦情が。それをスピーディーに解決するというのは、法的な執行をしていかんとなかなかできやんと思うんですよ。

それで、普通の空き家等になると、空き家を壊したら固定資産税が上がってくるので、そやもんでそれをちゅうちよしておるといふところもあるんですよ、空き家対策に関しては。そやで、なかなかこれは難しい話やで、特に真剣に腰を入れて当局も考えてやってもらわんと、せっかく法律もできたことやし、してほしいと、こういうことを申し上げて終わりたいと思います。

◎世古 明会長

他に御発言はございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

御発言もないようでありますので、目2まちづくり推進費の審査を終わります。
次に、168ページ、目3都市施設管理費について御審査願います。

(目3都市施設管理費) 発言なし

◎世古 明会長

御発言もないようでありますので、目3都市施設管理費の審査を終わります。
次に、目4下水道施設管理費について御審査願います。

(目4下水道施設管理費) 発言なし

◎世古 明会長

御発言もないようでありますので、目4下水道施設管理費の審査を終わります。
次に、目5街路事業費について御審査願います。

(目5街路事業費)

◎世古 明会長

御発言はありませんか。

小山委員。

○小山 敏委員

このところで、八日市場高向線のことで少しお尋ねさせていただきます。

成果説明書によりますと、用地取得関係のところで1筆で3平米で5,300万余り支出しておるんです。たった3平米で5,300万というのは異常な数字なんですけど、何か特別な事情でもありそうな気がするんですけども、どういうことなんでしょうか。

◎世古 明会長

基盤整備課長。

●荒木基盤整備課長

八日市場高向線の用地取得についてでございます。

3平米で約5,300万という表現をさせていただいておりますけれども、これにつきましては、平成23年に土地開発公社で土地及び建物補償を先行取得したものでございます。27年にそれを買い戻したということなんですけれども、買い戻す段階では建物は消滅しておるといってございまして、建物補償のお金については土地に付加して土地購入費で買い戻しておるといってございまして、このような表現になっておりますので、実態としては土地プラス建物補償のお金が加算されて約5,300万円というような、そんなようなことでございます。

以上でございます。

◎世古 明会長

小山委員。

○小山 敏委員

何か開発公社から買い戻したときにそれがのってたんでということなんでしょうけれども、ちょっとわかりにくいんです。だから、そこまでさかのぼるのは無理なんですかね。じゃ当時、その土地が何平米で、その土地に幾らで建物の当初が幾らやったかというのはわかりませんか。

◎世古 明会長

基盤整備課長。

●荒木基盤整備課長

土地開発公社が23年に取得した時点での面積につきましては126.49平方メートルでございます。建物が1軒ということで、建物補償費については約5,170万円程度でございます。土地については、これは補助金の関係もございまして、分筆して3平米について買い戻すと。これは補助金を最大限に活用するという形で3平米とプラス補償費を乗せた形で買い

戻しておると。残りは、まだ今後、補助金を活用できるような状況になればそれを買戻すというような、そのような予定でございます。

◎世古 明会長
小山委員。

○小山 敏委員
よくわかりました。

八日市場高向線の第1工区のほうはことしの3月で完成して、供用開始されて快適な道になっているんですが、第2工区につきましては一向に始まっている気配もないんですけども、どんなような状態なんでしょうか。

◎世古 明会長
基盤整備課長。

●荒木基盤整備課長

第2工区、これは丸二ホテルさんの交差点から北側の区間でございますけれども、これについては随時、用地取得するための交渉をしておるところでございます。状況としましては、23件中18件の御協力をいただいております。残り5件について少しでも早く事業完成するよう交渉を重ねておると、そのような状況でございます。

◎世古 明会長
小山委員。

○小山 敏委員

わかりました。一日も早く着工できるように頑張ってくださいと思います。

◎世古 明会長
他に御発言はありませんか。
山根委員。

○山根隆司委員

この中で高向小俣線の件でお聞きします。

これは、新しい宮川橋をつくる事業ということで、調査分の測量中というところで今回やっておるわけでございます。これにつきまして、8月末に私の地元におきましても地元説明会ということで協議をされたということをお聞きしております。どのようにこの計画を説明されたか、その点だけお聞かせください。

◎世古 明会長

基盤整備課長。

●荒木基盤整備課長

高向小俣線については、この7月末に地元の説明会もさせていただきました。区域としては小俣の調査の区域でございますけれども、それについて、今実施しております道路の概略設計がおよそできてきましたので、その概略設計をもとに地域の皆さん、特に用地取得をお願いせなあかんという地域について説明をさせていただきました。その説明の中で、個々皆さんがその図面を、あくまで概略ですけれども見ていただきながら、自分の土地がどれぐらいかとか、かからないかとかいろいろ確認もしながら、事業の全体の説明をさせていただいたところでございます。

◎世古 明会長
山根委員。

○山根隆司委員

わかりました。

用地がかかる地権者の皆さんが今回、市におきましても幾つかの代替地も購入されて、大体そういうところで立ち退きの方がおさまるような状況でございますか。

◎世古 明会長
基盤整備課長。

●荒木基盤整備課長

昨年度代替地を取得した、面積からいきますと恐らく6区画から7区画かなというふう
に想定しておりますけれども、今回の立ち退きが必要であろうという軒数は大体十四、五
軒ぐらいなのかなともくろんでおるところでございます。その中でも、やはり個々の事情
で別の自分の土地に行かれるとか、あるいは残ったところで建てられるとかいろいろござ
いますので、そこら辺は代替地を取得する前に皆さんに御意見をお伺いして聞いておる中
で、大体六、七区画程度におさまるぐらいの、今の段階での話ですけれども、そのような
お答えでした。今後、また詳細設計ができて、交渉に入った中で詰めていきたいと思っ
ております。

◎世古 明会長
山根委員。

○山根隆司委員

わかりました。地権者のところで何とかスムーズにいきそうな御答弁でございましたの
で、よろしくお願ひしたいと思ひます。

この事業、本当に大規模事業やということで、100億を超える事業かなというところで

思います。多額な財源が要るわけでございます。国から今、申請する中で予算要望した中でも、この前も言いましたが、配分がきちっと来るのかどうかということも本当に考えるところがあります。財源の厳しい中での見通し、確保はどのような形で考えておるのか、今現在の状況だけお教えてください。

◎世古 明会長
基盤整備課長。

●荒木基盤整備課長

この事業については大変多額の事業費がかかるということで、その財源確保、補助をとっていくということが重要だと捉えております。今年度、28年度については、補助事業として要望はしておったんですが、現実的には配分がなかったという現実がございます。これを受けまして、市としても何とか補助をとれる、いろいろ事業にはメニューもございますので、そこを考え方を変えて、これは県・国と協議しながらですけれども、少しでも補助をとれるような方法を探りながら今まさに協議をして、その手続をしておるところでございます。

◎世古 明会長
山根委員。

○山根隆司委員

財源確保ということで、手続ということで、今年度も配分なしという本当に厳しい、国のほうも仕送り厳しいのかなというふうに思います。そういう点も含めた中でこの事業を進めていく中で、計画の進め方として何年度に着手の予定なのか、そのあたり、財源のある中ですからできないのはわかりますが、どの程度のところで構想の中で着手の目標をされておるのか、そこだけもう一度お聞かせください。

◎世古 明会長
基盤整備課長。

●荒木基盤整備課長

この事業については、調査事業については既に着手しておるところでございますけれども、本格的に補助金をつけていただいて、事業を29年度から詳細設計に入っていきたいというふうに考えております。今、県・国と協議しておる中で、全体的なスケジュールは29年度から約15年程度になるような今、話の中でありましてけれども、まだ確定的なところではございません。やはり補助の配分ということもあって、そういう少し長い期間で言われておるんですけども、今そのような調整をしておるところでございます。

◎世古 明会長

山根委員。

○山根隆司委員

財源が厳しい中で15年程度というような見通しということもお聞きしました。少しがっかりするところでございます。極力、今の現宮川橋も老朽化の中でそういう状況で、この中でもまだ完成するまでの中で橋梁の保守管理もせなあかんということで、財源が少しでもかかってくるということになりますので、いち早く着手、着工でき、完成できるようによろしく願いいたします。ありがとうございます。

◎世古 明会長

他に御発言はありませんか。

[「なし」と呼ぶ者あり]

◎世古 明会長

御発言もないようでありますので、目5街路事業費の審査を終わります。

次に、170ページをお開きください。

目6公園費について御審査願います。

(目6公園費)

◎世古 明会長

御発言はありませんか。

山根委員。

○山根隆司委員

公園の維持をお聞きします。

成果表を見せてもろうた中で、今回6施設の公園の工事、遊具というものをされたよう
でございます。伊勢の中でも100からの公園がある中でございますので、どのような優先
順位、どのような形で遊具選定をされたのか、その辺を少しお聞かせください。

◎世古 明会長

基盤整備課長。

●荒木基盤整備課長

公園の遊具の更新については、公園の長寿命化計画に基づきまして施設の状況を判定し
ております。その中で、公園優先順位につきまして危険度判定の高いところから随時遊具
を更新しておるというところでございますけれども、その中で補助で認められております
のは現在ある遊具の機能回復というところでございますので、そういった考えをもとに、
具体的なこういう遊具がいいんやというものについてはこちらのほうから案を幾つか自治
会さんのほうへ提示させていただいて、決めていただいで整備を行っている、という

ような状況です。

◎世古 明会長
山根委員。

○山根隆司委員

当局の説明でわかりました。

伊勢に100以上の公園があるわけですね、聞かせてもらう中で。公園の長寿命化の維持費ということでございます。公園の中にも、遊具もあれば手洗いもあり、水道とかいろんな形で設備等もされております。その中で、裏の水道サービスセンターの会員の皆さんがボランティアで百幾つある公園の中で水道の点検、水漏れというのを年2回されております。そういう中で維持管理として民間の方が無料でボランティアでやってくれておる中で、当局の方は事業化した中で修繕補修という問題も出てくる点もあると思いますが、どのような感じで水道組合の皆さんと連携されておるのか。今までのかかわり方について修繕等で今までどういう前例があったか、お聞かせください。

◎世古 明会長
維持課副参事。

●安藤維持課副参事

現在伊勢市が所有している公園といいますのは、先ほど委員さんがおっしゃいましたように約210、街区公園でございます。大きい公園も含めると220でございます。その中で当然、水道施設、水飲み場とかそういう施設がございます。それに関しましては適宜、修繕も含めまして地元の業者さんと相談させていただいて、組合等も含めて修繕をお願いさせていただいておるところでございます。

以上でございます。

◎世古 明会長
山根委員。

○山根隆司委員

いろんな形で連携してもろうた中で維持管理費が極力少なくなるように、公園の長寿命化ということで事業を進めてください。よろしく願いいたします。

◎世古 明会長
他に御発言はございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

◎世古 明会長

御発言もないようでありますので、目6公園費の審査を終わります。

暫時休憩します。11時25分まで休憩いたします。

休憩 午前11時12分

再開 午前11時23分

◎世古 明会長

休憩を解き、審査を続けます。

次に、項6住宅費について御審査願います。

住宅費につきましては、項一括で御審査をお願いします。

《項6住宅費》

◎世古 明会長

御発言はありませんか。

宿委員。

○宿 典泰委員

住宅費の管理費についてお伺いをしたいと思います。

この件は、歳入でも少し触れさせていただきましたけれども、大変今、公営住宅の維持管理としては指定管理を利用しながらやっている、これは有効に働いておるといような答弁があったと思うんですけれども、公営住宅の実態の話として、非常に年数がたってきたものが多いということを以前も産業建設委員会の中でもお聞きをしたと思うんです。

それで、これは公設のマネジメントにもかかってくる。今、総合管理計画を立ててみえるとは思いますが、その中で用途廃止をするものであったりとか、少し修繕しながら先延ばしにしておるような状況もあろうと思うんですけれども、全体の今回の御質問は、市営住宅の政策というのか、将来に向けての考え方をちょっと整理してもらったほうがいいのではないかなということを非常に感じるものですから、ちょっと御質問申し上げたいと思うんです。

今回、市営住宅の耐用年数等々の見方についても30年から70年までであるということをお聞きしてもらったのと、それと市営住宅の今1次判定が行われて、その中で維持管理していくもの、用途廃止をするもの、建築の修繕を行いながら継続して判定していくものというようにお願いしておるんですけれども、マル、三角、ペケとある中でマルのものは非常に少なく、やはり今後の公営住宅の考え方としてどのようにやっていくのかなということが非常に心配するところであり、住宅課のほうで、日々のことはもちろんでありますけれども、今回の決算も踏まえてどのような将来展望を持ってみえるのか、ちょっとお伺いしたいと思います。

◎世古 明会長

都市整備部参事。

●久田都市整備部参事

今、委員がおっしゃったように、市営住宅につきましては昭和40年とか昭和50年代、こういった時期に建設されたものが多うございます。それで、老朽化も激しいところもありますけれども、25年度に長寿命化計画、これの中で整理をさせていただきました。その中で、撤去していくもの、それとこのまま継続していくもの、また長寿命化により継続していくもの、そういったことで仕分けをさせていただきました。それで、今現在としましては、長寿命化計画に基づきまして改修を行っておるといような状況でございます。

◎世古 明会長
宿委員。

○宿 典泰委員

今、私の質問は将来についてということで、少し住宅政策ということですから課長さんにはなかなかあれなんかなと思うんですけども、実際には私らも市営住宅のことについて他市、他県の様子を見てみると、伊勢市のようにまちづくりのほうではコンパクトシティをこれからしていこうと言いながら、非常に市営住宅の今の状況を見てみると全市的にすごく広がっておって、なかなかそこがもう老朽化をしておるといような状況で、他市の状況を見てみると、やはり中心市街地に持ってくる、高度化をしていく、そういうことが多くて、そこへまとめていくんだという目標がきちっと決められておるものですから、遠方であって旧の市営住宅を何らかで耐用年数が来て取り壊しがあつたときには、そこは更地にして建てかえはしない。中心市街地のほうへできるだけ高層化して、そちらのほうへ入っていただくと。そうすると市民サービスとしてはすごく高い状況になっておるといことを聞くわけでありませう。そういうところまで今回の長寿命化の話としてはないにしても、やはり将来の展望としてそういう考え方でこれからいくんかいのか、そのあたりのことを少し触れたいと思うんですけども、お考えをお示してください。

◎世古 明会長
都市整備部参事。

●久田都市整備部参事

ただいまの御質問にお答えさせていただきます。

長寿命化計画の中で市営住宅につきましては、基本的には建てかえをせずに、もし戸数が足りない場合につきましては、民間の住宅を借り上げたりとかして進めていくといような形でお示ししております。それで、今言われたような形のところについてはまだそういった考えはありませんけれども、アイデアとしてはいいことかなということもあります。ただ、今現在としましては、長寿命化計画に基づきまして、戸数が足らなくなりましたら民間の借り上げなどを利用して進めていきたいというふうに考えております。

◎世古 明会長

市営住宅の将来の大きな考え方になりますので、補足ございますか。
都市整備部長。

●中村都市整備部長

今、参事が申しあげましたように、長寿命化計画ということに現在はなっております。足らなくなった場合は民間へということもございます。市営住宅は将来においてその時点で考えるべきだと思いますが、今、委員申されたように、コンパクトシティという一方ではまちづくりも進めていくという中では、非常にいいような方向に持っていきたいと、そんなことも今後研究してまいりたいと思います。

◎世古 明会長

他に御発言はございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

◎世古 明会長

御発言もないようでありますので、項6住宅費の審査を終わります。

以上で土木費の審査を終わります。

次に、款10消防費の審査に入ります。

消防費については、目単位での審査をお願いします。

当分科会に関係するのは、項1消防費のうち174ページ、目4水防費、176ページ、目5災害対策費、大事業4、防災基盤整備事業、中事業3、住宅・建築物耐震改修等促進事業となります。

それでは、174ページをお開きください。

目4水防費について御審査願います。

【款10消防費】《項1消防費》（目4水防費） 発言なし

◎世古 明会長

御発言もないようでありますので、目4水防費の審査を終わります。

次に、176ページをお開きください。

目5災害対策費について御審査願います。

目5災害対策費で当分科会関係分は、大事業4、防災基盤整備事業、中事業3、住宅・建築物耐震改修等促進事業となります。

（目5災害対策費） 発言なし

◎世古 明会長

御発言もないようでありますので、目5災害対策費の審査を終わります。

以上で消防費の審査を終わります。

次に、款11教育費の審査に入ります。

当分科会に関係するのは、196ページ、項6保健体育費のうち目4体育振興費、大事業4、集客誘致大会開催事業及び大事業5、国民体育大会開催事業となります。

【款11教育費】《項6保健体育費》（目4体育振興費） 発言なし

◎世古 明会長

御発言もないようでありますので、目4体育振興費の審査を終わります。

以上で教育費の審査を終わります。

次に、198ページをお開きください。

款12災害復旧費の審査に入ります。

災害復旧費については、款一括で御審査願います。

当分科会に関係するのは、項1農林水産業施設災害復旧費及び200ページ、項2公共土木施設災害復旧費となります。

【款12災害復旧費】 発言なし

◎世古 明会長

御発言もないようでありますので、款12災害復旧費の審査を終わります。

次に、202ページをお開きください。

款14諸支出金の審査に入ります。諸支出金を御審査願います。

当分科会に関係するのは、項1普通財産取得費のうち目1土地取得費となります。

【款14諸支出金】《項1普通財産取得費》（目1土地取得費） 発言なし

◎世古 明会長

御発言もないようでありますので、款14諸支出金の審査を終わります。

以上で歳出の審査を終わります。

次に、一般会計中、当分科会関係分の自由討議を行います。御発言はありませんか。

【一般会計の自由討議】 発言なし

◎世古 明会長

御発言もないようでありますので、自由討議を終わります。

次に、住宅新築資金等貸付事業特別会計の審査に入ります。

268ページをお開きください。

歳入について、歳入一括で御審査願います。

☆住宅新築資金等貸付事業特別会計

【歳入】 発言なし

◎世古 明会長

御発言もないようですので、歳入の審査を終わります。

次に、270ページをお開きください。

歳出について、歳出一括で御審査願います。

【歳出】 発言なし

◎世古 明会長

御発言もないようでありますので、歳出の審査を終わります。

次に、272ページをお開きください。

住宅新築資金等貸付事業特別会計実質収支に関する調書について御審査願います。

【住宅新築資金等貸付事業特別会計実質収支に関する調書】 発言なし

◎世古 明会長

御発言もないようでありますので、住宅新築資金等貸付事業特別会計実質収支に関する調書の審査を終わります。

次に、観光交通対策特別会計の審査に入ります。

276ページをお開きください。

歳入について、歳入一括で御審査願います。

☆観光交通対策特別会計

【歳入】

◎世古 明会長

御発言はありませんか。

小山委員。

○小山 敏委員

駐車場使用料のところでお尋ねさせていただきます。

私、毎回このことで常設と臨時の料金格差のことを指摘させていただいておるんですけども、駐車場が有料化されたときは、とりあえずこの料金体系でさせていただきますと、また見直しますからということでスタートしまして、何年たってもそのままだったんですが、遷宮を控えて、遷宮前にまた料金体系を変えますと混乱するのでこのままさせていただきます。それで遷宮も済んだんですが、ことしの3月の予算委員会でお尋ねしたときには、今後、菓子博覧会、高校総体、国体等ビッグイベントがございましてもう少し様子を見たいということで、そのときそのとき、その場しのぎの答弁を繰り返しているように思うん

です。本当に見直す気があるのかないのかというのをちょっと知りたいんですが、どうですか。

◎世古 明会長
交通政策課副参事。

●小林交通政策課副参事

料金の見直しでございますが、関係者からもこのままでいけないかといった意見もございます。あと、来年控えております菓子博覧会等ございますので、今改正するのは混乱を招くということから現在も調整中でございます。

◎世古 明会長
小山委員。

○小山 敏委員

そうしましたら、臨時と常設の料金格差、常設のほうは2時間で500円、臨時のほうは1,000円と2倍の格差があるんですが、伊勢市としてこの格差をどんなふうに考えておりますか。

◎世古 明会長
交通政策課副参事。

●小林交通政策課副参事

確かに臨時駐車場と市営駐車場の格差がございますが、今のところ、臨時駐車場の料金を徴収しておりますスタッフに聞きますと混乱はないということでございます。この格差については是正していかないかんものと思っておりますが、今現在調整しておるところでございます。

◎世古 明会長
小山委員。

○小山 敏委員

調整が長いんですよ。一応の結論を見るのはいつなのかというふうにお伺いしたときも、その辺も含めて今後協議検討していくということなんですが、本当にそんな気があるのかなというような気がするんです。聞くところによりますと、行政マンの特性といたしまして、一度決めたことはもう何か変えたくないというふうな習性があるというふう聞いておるんです。業務怠慢とは言いませんけれども、本当に見直す気があるのかないのかだけ最後に聞いて、終わっておきます。

◎世古 明会長
都市整備部長。

●中村都市整備部長

現在、料金については関係者、特に神宮さんとも定期的に料金改定の、臨時駐車時場だけではなく見直しの議論をしております。頻度としては1カ月から2カ月ぐらいの間に1回程度、交通あるいは観光部局とともに神宮に出かけまして、料金の部分についても改定についても議論はしております。ただそれは、こういう臨時駐車場との現在、格差があるという課題を踏まえながら調整をしております。

今の500円の駐車場の高い低いも含めまして調整はしておりますが、なかなか最終決着には至っていないということでもありますので、いつからやるということではなく、その調整は今後も引き続き議論をしていきたいと、このように考えております。

◎世古 明会長
他に御発言はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

◎世古 明会長

御発言もないようでありますので、歳入の審査を終わります。

次に、278ページをお開きください。

歳出について、歳出一括で御審査願います。

【歳出】

◎世古 明会長
御発言はありませんか。
山根委員。

○山根隆司委員

このところで不用額が5,212万3,000円というふうに出ていますけれども、これについての説明だけ簡単をお願いいたします。

◎世古 明会長
交通政策課副参事。

●小林交通政策課副参事

負担金でございます。これにつきましては、伊勢地域観光交通対策協議会の負担金を当初計上しておりましたのが約1億円ということと、結果としまして支出額4,800万ということで、不用額5,200万でございます。これにつきましては、今年度、サミットがございましたので、それに備えまして持っておりましたが、5,200万円につきましては必要がなく

になりましたため、不用が出たものでございます。

◎世古 明会長

他に御発言はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

◎世古 明会長

御発言もないようですので、歳出の審査を終わります。

次に、280ページをお開きください。

観光交通対策特別会計実質収支に関する調書について御審査願います。

【観光交通対策特別会計実質収支に関する調書】 発言なし

◎世古 明会長

御発言もないようでありますので、観光交通対策特別会計実質収支に関する調書の審査を終わります。

次に、土地取得特別会計の審査に入ります。

284ページをお開きください。

歳入について、歳入一括で御審査願います。

☆土地取得特別会計

【歳入】 発言なし

◎世古 明会長

御発言もないようでありますので、歳入の審査を終わります。

次に、286ページをお開きください。

歳出について、歳出一括で御審査願います。

【歳出】 発言なし

◎世古 明会長

御発言もないようでありますので、歳出の審査を終わります。

次に、288ページをお開きください。

土地取得特別会計実質収支に関する調書について御審査願います。

【土地取得特別会計実質収支に関する調書】 発言なし

◎世古 明会長

御発言もないようでありますので、土地取得特別会計実質収支に関する調書の審査を終わります。

以上で議案第74号の審査を終わります。

次に、特別会計中、当分科会関係分の自由討議を行いたいと思いますが、御発言はありませんか。

【特別会計の自由討議】 発言なし

◎世古 明会長

御発言もないようでありますので、自由討議を終わります。

次に、「議案第76号平成27年度伊勢市水道事業の利益の処分及び平成27年度伊勢市水道事業会計決算認定について」の審査に入ります。

この議案の審査については、一括で御審査願います。

☆議案第76号平成27年度伊勢市水道事業の利益の処分及び平成27年度伊勢市水道事業会計決算認定について

◎世古 明会長

御発言はありませんか。

山根委員。

○山根隆司委員

1点だけさせていただきます。

成果表の中で見させてもらおうと、647ページに宮川水管橋の改修が出ております。ここにおきまして2億1,700万ということでございますけれども、これ、当初入札したときに1億2,000万ぐらいであったというようにお聞きしておるわけなんです。変更増になった主な理由というのは、1億からの増額というのはどういう理由があったのか、その点だけちょっとお聞かせください。

◎世古 明会長

上水道課長。

●前村上水道課長

宮川水管橋の改修工事につきましては、本来、塗装の改修ということ、塗りかえを中心とした工事で行ってまいりました。塗りかえに伴い既存の塗装を剥がしましたところ、全体で1万4,000本を超えるボルトがございまして、そのボルトの部分の腐食を初め老朽化が認められたということで、将来的な破断のおそれというところを回避するために全てのボルトを交換という判断をさせていただきまして、それに伴います工事費が増額となったというものでございます。

◎世古 明会長

山根委員。

○山根隆司委員

わかりました。着手してから1万4,000本のボルトがということでございましたので、設計の段階で気がつかなかったというのは、やってみないとわからないということでございます。理由はわかりましたので、これで結構でございます。

◎世古 明会長

他に発言はございませんか。

宿委員。

○宿 典泰委員

今回、27年度の上水道の報告ということになるとするんですけども、決算書の事業報告書を見させてもらおうと、収入額が27億1,300万に対して支出額が22億2,400万で、4億8,800万からの純利益を生じたということであります。この中には繰出金もあるわけでありまして、この決算の中の検証をしていただきたいと思うんです。今回、純利益で、また収益的支出の中から翌年度への繰り越しもされておるということで、安定した経営ということで解釈させていただいてよろしいのでしょうか。

◎世古 明会長

上水道総務課長。

●西川上下水道総務課長

今、宿委員が述べられたように4億8,800万円の今年度は純利益が出ております。ただ今後、老朽管等の更新等もまだまだ控えておりますし、平成26年度に水道料金を値下げした分もございまして、この先の収入についても余り楽天的にはいられない状況でございますので、これからこういった純利益をうまく活用しまして、安定的な経営を図っていきたいというふうに考えております。

以上でございます。

◎世古 明会長

宿委員。

○宿 典泰委員

これも企業会計ですので、独自採算としての見地をお願いしたいと思うんですけども、私は余り楽観視をしていない。当局側も今、楽観視を余りしていないということで、利益がことしは出たけれども今後の推移を見守るといような状況だとは思っています。正直、これからの人口減少になるということは市長も申されておりますし、更新事業もある、当然。長寿命化というんですか、そのあたりのこともあわせてやっていくということであり

ますけれども、今回、有収水量が1.2%でしたか、減ったということで、昨年と比べると。そのあたりの影響というのが今後も有収水量についてどれぐらいの影響が出てくるのかなと。正直、有収水量ということになると料金徴収の対象になる水量ですから、このあたりが人口は減るけれども水量としてはきちっとおさめられておるということであればいいと思うんですけれども、1.2%の減ということでした。非常に気になりますし、このあたりがどれぐらいの数字になるかはちょっと計算もできないので、今後の見通しとしてそのあたりのことを御回答願えませんでしょうか。

◎世古 明会長

上水道総務課長。

●西川上下水道総務課長

人口減に伴う有収水量の減少というのはやむを得ない部分であるかと思えますけれども、ただ、手元に届く水道水が無駄にならないような努力、先ほど申し上げましたような老朽管等の漏水事故を防ぐ、こういった方面とコストを削減するような両面で、先ほど委員言われました1.数パーセントの減量に対して対応をしていきたいというふうに考えております。

◎世古 明会長

宿委員。

○宿 典泰委員

ちょっとお聞きしたことが悪かったかわからんですけれども、実際には総有収水量が今後減っていくだろうということが人口減少の中で見えてくるわけでありまして。そうしますと、水道課内ではやはりそのあたりの行財政改革というのか、そういったことはある程度今後も行われていくんだろうという頭で私もおるわけでありましてけれども、実際には、その一方できちっと水を使っていたものに対しての料金がちゃんと納められておるかという、未収の部分というのがなかなか決算報告書にないんですよ。それで、概要書を見せていただくと、そこには若干載っておるんですけれども、このあたりは、やはり水道事業の報告書の中に上水道における未収金であるとか不納欠損した状況であるとか、そういったことがきちっと報告をされてどうなんだろうというような気がするんです。そのあたりのことについて、どのような表現の仕方が正解だと思われませんか。

◎世古 明会長

上下水道部長。

●高谷上下水道部長

宿委員にお答えさせていただきます。

確かに、決算書の中では不納欠損と未収金の表示がわかりにくいと。全体額でしか上げ

ておりませんので非常にわかりにくくなっております。また、事務の概要を見ないとわからないようになっておりますので、今後の決算の表示につきましては、その辺も加味しましてもう少しわかりやすい表示をさせていただきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

◎世古 明会長
宿委員。

○宿 典泰委員

ありがとうございました。今後の対応については、やはり決算書を見れば1年間の動向というのがきちっとわかるという、数字も含めてお願いをしたいと思うんです。

概要書のほうで御質問申し上げたいんです。結局、水道のほうも安定的に運営されておるとことは先ほども申したような状況なんですけれども、実際には未収金のほうも7,300万から出ております。これは現年度分です。過年度分にしては1億2,200万からあるということで表示されておるんですけれども、当然、過年度分ですからこの中には不納欠損も発生して、117万7,000円からの不納欠損があるということですよ。といいますと、やはり過年度分の回収をいかにきちっとやっていくかということが不納欠損につながらない手法であるわけでありまして、このあたりの未収金、また不納欠損金に対する当局側の考え方をお伺いしたいと思っております。

◎世古 明会長
料金課長。

●酒井料金課長

ただいまの御質問に対してお答えさせていただきます。

まず、窓口徴収業務につきましては民間委託をさせていただいております。滞納が発生しますと督促状、催告等も業務委託を行っておるところでございます。今回の未収金は、決算ということで率として現年度分97.2%というところでございますけれども、一般会計と異なりまして出納整理期間がございませんので、それに相当する4月、5月の収入が5,267万296円ございまして、5月末での現年度の収納率は99.2%というようなところございました。

ちょっと話があちこちしますけれども、滞納に対する対応としましては、滞納が2回以上、4カ月分滞納された場合には給水停止予告という通知を發します。それでもなお収納されない場合には給水停水を行っておるところでございます。よろしくお願いいたします。

◎世古 明会長
宿委員。

○宿 典泰委員

わかりました。決算のほうは3月31日現在だと。それで未収金をやると7,317万からあるけれども、4月、5月の分として入ってくるのがもう5,200万明確になっておるから、その分をやると99.2%という収納率になるということですよ。これは、現年分はそれで結構かと思います。100%に近づけるとというのが本来の形ですので、99.2のうちの0.8ポイントというのがどの程度かなというのがちょっと不安になるわけでありましてけれども、問題は過年度分の1億2,200万なんです。このあたりが、どうしても伸び伸びになっていくということになると5年で不納欠損をせないかんということになるということだと思っております。

そういうことになってしまうと不納欠損で処理をするわけなんですけれども、安定的な運営、経営をやっていくということになると、使っていただいた水に対してきちっとした料金も徴収してもらって、納めてもらうということをやったり公平的にやっていただかんといかんということでもあります。過年度分の徴収の仕方についてももう少し検討することが必要ではないかなと思うんですけれども、そのあたり、もう一度お答えください。

◎世古 明会長
料金課長。

●酒井料金課長

すみませんでした。早期の対応を強化しておるところではございますけれども、長期化あるいは滞納がふえてきた場合、昔からの積み上げでございます。時効につきましては2年というふうな時効でございますけれども、本人の援用の申し出がない限り債務は継続するところでございますので、粘り強く交渉を行ってまいりまして回収努力を凶っておるところでございます。

以上でございます。

◎世古 明会長
宿委員。

○宿 典泰委員

そのあたりは責任ある方からちょっと御答弁をいただきたいんですけれども、先ほど言った人口減少になる、長寿命化によってというような話であったりとか、費用はだんだんかさんでくるという話になるわけでありまして、収入についても今のような関係でなかなか払っていただけないという方がふえてくるということになると、非常に安定した経営というのができないというような状況になるのではないかなと思いますので、今回の27年度の決算を検証していただいて、次年度にどのような考え方で進むかということをお答えいただきたいと思います。

◎世古 明会長
上下水道部長。

●高谷上下水道部長

未収金、不納欠損につきましてはなかなか回収できないということで、非常に御迷惑をかけております。職員及び指定管理をしております業者、みんな一生懸命やっただいておるんですけれども、やはり現在の状況では残ってくるというような状況でございます。

先ほど料金課長も言いましたとおり、一応対象者につきましてはいろいろと悪徳のような方もみえますし、それから良識ある方もみえますし、いろいろな方がおみえになります。部内でもそういう滞納について協議もしております、それぞれ対応策も考えてやっております。いま一度部内会議等も進めまして鋭意努力させていただきますので、今後とも改善させていただきますので、よろしく御理解賜りたいと思います。

◎世古 明会長

他に御発言はございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

◎世古 明会長

御発言もないようでありますので、議案第76号の審査を終わります。

次に、「議案第77号平成27年度伊勢市下水道事業の利益の処分及び平成27年度伊勢市下水道事業会計決算認定について」の審査に入ります。

この議案の審査についても一括で御審査願います。

☆議案第77号平成27年度伊勢市下水道事業の利益の処分及び平成27年度伊勢市下水道事業会計決算認定について

◎世古 明会長

御発言はありませんか。

宿委員。

○宿 典泰委員

下水道のところで若干御質問申し上げたいと思います。

上水道と違って、下水道はやはり先行投資が必要だということは我々も理解をしています。ただ、せつかく下水道工事が目の前まで来たのに、なかなかその宅内の工事が水洗化をしてもらえない。率の問題もここに78%と書かれておりますけれども、そのあたりのことについての啓発、また個人に対しての接続していただくような持っていき方についてはどのような考えでみえるのか、お答えをください。

◎世古 明会長

下水道施設管理課長。

●渡邊下水道施設管理課長

今御質問いただきましたように、水洗化率も接続に関しては何とか早期につないでいただくように、実は平成23年度から戸別訪問をさせていただいております。年間約5,000軒の方に戸別訪問させていただいて、下水道に関する理解であったりとか接続に関するお願いもさせていただいているところでございます。ただし、接続、排水設備の工事に関しては状況によっては非常に高価な費用がかかってくる状況もございますので、そのあたりは粘り強くお願いをさせていただいて、少しでも早く接続していただきますようお願いしているところでございます。

以上でございます。

◎世古 明会長

宿委員。

○宿 典泰委員

今の水洗化率を上げることについては、申されたみたいにそういうことで何度も繰り返していただくことしかないと思いますし、金銭面で非常に不自由をかけておるといことの方々には融資制度等々の利用もあるかと思っておりますので、そのあたりの御案内もきちっとやっていただかなきゃならんなと思っております。

正直、伊勢市のほうは、下水道事業が第3期事業がまだ終わらんうちに第4期事業も進めておるわけじゃないですか。それは、やはりいろんな条件の中で仕方なしにということはいわゆる我々も理解するわけでありましてけれども、多額の費用がかかります。

その一方で、先ほどの上水道と同じように、人口はだんだん減ってくるわけでありまして。想像しておったところが大変人口が減って高齢化になってくるといこと、せっかくつないでもそれは収益にはつながらないということになりかねない状況でありますよね。そんなんで、大変下水道については厳しい状況だと私は受けとめておるわけでありまして。

時間の関係もあってちょっとしますと、やはり下水道に当たっても、先ほど申したように、上水道と同じように未収金の状況とか不納欠損の状況というのは報告書の中に一切出てきません。そのあたりのことをきちっと注釈を入れて表示することが大事だと思うんですけども、そのあたりのことについてはいかがが考えておられるのか、お聞かせください。

◎世古 明会長

上下水道部長。

●高谷上下水道部長

先ほどの水道事業と同じように、下水道事業も同じような表現で非常に御迷惑をかけております。特に決算書のほうにわかりにくい表示がございますので、この点、もっとわかりやすい表示で今後は考えさせていただきます。よろしく申し上げます。

◎世古 明会長

宿委員。

○宿 典泰委員

最後にいたします。

下水道のほうも、先ほど申したように大変厳しい状況で決算を組むということになると思うんです。これも一般会計からの繰り出しがないとなかなか運営ができないという状況ということは中身を見ても非常にわかるわけでありますから、今言った未収金の状況であるとか不納欠損にならない状況であるとか、それとか水洗化率をどれだけ上げていくのかというようなことを全職員で取り組んでもらうしかないのかなと、こんなことを思いますので、最後にそのあたりの今後の将来についての安定した経営についてお答えいただければありがたいかなと思います。よろしく申し上げます。

◎世古 明会長

副市長。

●藤本副市長

先ほどの上水道、また下水道のことでいろいろ御質問いただいてまいりました。人口が減少しても水道管、また下水道管の延長が減るわけではございません。それだけにこれからも厳しい経営状況になっていく中で、収入の未収金を含めて確保を図っていく、非常に重要なことであるというふうに認識しております。現在も庁内で債権回収について上下水道の料金も含めて対応しているところでございますけれども、庁内職員、このことを心しまして、これからも当たってまいりたいというふうに考えておりますので、御理解いただきたいと思っております。

◎世古 明会長

他に御発言はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

◎世古 明会長

御発言もないようでありますので、議案第77号の審査を終わります。

次に、企業会計中、当分科会関係分の自由討議を行いたいと思っておりますが、御発言ありませんか。

【企業会計の自由討議】 発言なし

◎世古 明会長

御発言もないようでありますので、自由討議を終わります。

次に、平成27年度決算全体中、当分科会関係分の自由討議を行いたいと思っておりますが、御発言はありませんか。

【平成27年度決算全体の自由討議】 発言なし

◎世古 明会長

御発言もないようでありますので、自由討議を終わります。

暫時休憩します。

休憩 午後 0 時07分

再開 午後 0 時07分

◎世古 明会長

休憩を解き、審査を続けます。

以上で、本分科会に振り分けられました案件の審査は終わりました。

委員の皆様におかれましては、円滑な審査に御協力をいただき、ありがとうございます。

お諮りいたします。

会長報告文の作成については、正副会長に御一任願いたいと思いますが、御異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

◎世古 明会長

御異議なしと認めます。そのように決定いたしました。

それでは、これをもって産業建設分科会を閉会いたします。ありがとうございました。

閉会 午後 0 時08分

上記署名する。

平成28年 9 月 27日

会 長

委 員

委 員